

クラスター	生体機能系クラスター			
授業科目名	呼吸器学・実習			
担当者名	責任者	中山 勝敏	分担者	佐藤 一洋, 竹田 正秀
単位数	1単位(選択)		配当年次	1年次
授業形態	講義		実施場所	授業計画の〔実施場所〕を参照
開講期間	科目履修登録終了後に受講者へメールで連絡します			
開講曜日・時間	科目履修登録終了後に受講者へメールで連絡します			
授業の概要・到達目標				
<p>授業の目的:慢性閉塞性肺疾患, 肺炎および気管支喘息の治療法について, 理解することを目的とする。</p> <p>授業の到達目標:慢性閉塞性肺疾患, 肺炎および気管支喘息の治療法を理解し, 説明することを目標とする。</p> <p>授業の概要: 慢性閉塞性肺疾患と肺炎は2016年には世界の死因第3位, 4位になっており, これは暫く維持されてゆくと予想されている。慢性閉塞性肺疾患, 肺炎および気管支喘息の成立機序を分子レベルより示し, その病態生理に即した治療法につき, 最近の知見をふくめ以下の項目について概説する。</p> <p>1,2. 肺炎の成立機序とその予防法 3,4. 気管支喘息の病態生理と治療 5,6. 慢性閉塞性肺疾患の病態生理と治療 7,8. 気管支喘息と慢性閉塞性肺疾患の相違点 9,10. 慢性閉塞性肺疾患における気道感染</p>				
授業計画				
	講義 (講義 題目 内容)	担当教員	講座名 〔実施場所〕	
1	肺炎の成立機序とその予防法	中山 勝敏	呼吸器内科学 〔講座カンファ レンスルーム〕	
2				
3	気管支喘息の病態生理と治療	中山 勝敏		
4				
5	慢性閉塞性肺疾患の病態生理と治療	中山 勝敏		
6				
7	気管支喘息と慢性閉塞性肺疾患の相違点	竹田 正秀		
8				
9	慢性閉塞性肺疾患における気道感染	佐藤 一洋		
10				
授業形態および成績の評価方法・基準				
講義室(研究室)での講義30時間+自学自習15時間, 計45時間で1単位とし, 評価は出席状況と口頭試問および筆記試験の結果, 提出したレポートの内容を考慮して行う。				
問い合わせ先(氏名, メールアドレス等)				
中山 勝敏, kat_n1@med.akita-u.ac.jp				
その他特記事項				
履修に関する情報:社会人大学院生など, 勤務等で実習に出席できない場合には日程の調整に応じます。				
教科書・参考文献:必要に応じて資料を配付する。または, 文献を指定する。				
自学自習時間における学習内容:到達目標や授業内容に応じた準備学習を行うことが望ましい。				